

第2学年「社会」（地理的分野）

1 学習内容と使用する教材

		単元名	小単元名	使用する教材
1 学 期 ／ 2 学 期 ／ 3 学 期	日 本 の 様 々 な 地 域	地域調査の手法	○身近な地域の調査 ○大縮尺地図の活用 ○地域調査の方法	・教科書 ・地図帳 ・資料集 ・授業プリント ・ワーク ・色鉛筆 ※ワークは授業以外にも家庭学習で活用しましょう。
		日本の地域的特色と地域区分	○自然環境 ○人口 ○資源・エネルギーと産業 ○地域間の結びつき	
		日本の諸地域	○北海道地方 ○九州地方 ○東北地方 ○中国・四国地方 ○近畿地方 ○中部地方 ○関東地方	
		地域の在り方	○身近な地域の課題を見つける ○課題を調査する ○要因を考察する ○解決策を構想する ○地域の将来像を提案する	

2 評価について

- (1) 基本的な考え方…下の表に示した3つの観点による評価を基本として、学習の目標がどれだけ実現できたかによって評価します。また、一人ひとりの良い点や可能性、進歩の状況なども積極的に評価します。そのため、学習前や学習過程の中にも評価の場面を設け、生徒の変容を計画的、継続的に把握します。
- (2) 具体的な評価の方法…定期テスト・小テストや観察、作品やレポートの分析などを組み合わせて評価します。また、生徒自身が学習を振り返り、次の学習や総合的な学習の時間、日常生活に生かせるよう自己評価能力の育成にも努めます。

知識及び技能	世界を大観し、日本とその諸地域のおもな地理的事象や日本と世界の結び付きなどについて、他地域と比較、関連させて理解し、それに関する知識を身に付けている。 地図、統計、映像など地域に関する様々な資料を適切に選択し、活用するとともに、地図や報告書などにまとめたりしている。
思考・判断・表現	地理的事象を多面的・多角的に考察し、日本の各地域の特色を把握して、公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	地理的事象に関心をもち、それを意欲的に追究して、広い視野から我が国の国土の特色や日本と世界の結び付きについて認識を養おうとする。

第2学年「社会」（歴史的分野）

1 学習内容と使用する教材

時期		単元名	学習内容	使用する教材
1学期／2学期／3学期	中世の日本	ユーラシアの動きと武士政治の展開	○応仁の乱と戦国大名 ○室町文化とその広がり	
	近世の日本	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	○キリスト教世界とルネサンス ○ヨーロッパと外の世界 ○ヨーロッパ人との出会い ○織田信長・豊臣秀吉による統一事業 ○兵農分離と朝鮮侵略 ○桃山文化	・教科書 ・資料集 ・授業プリント ・ワーク ・色鉛筆 ※ワークは授業以外にも家庭学習で活用しましょう。
		江戸幕府の成立と対外政策	○江戸幕府の成立と支配の仕組み ○さまざまな身分と暮らし ○貿易の振興から鎖国へ ○鎖国下の対外関係	
		産業の発達と幕府政治の動き	○農業や諸産業の発達 ○交通路の整備と都市の繁栄 ○幕府政治の安定と元禄文化 ○享保の改革と社会の変化 ○田沼の政治と寛政の改革 ○新しい学問と化政文化 ○外国船の出現と天保の改革	
	開国と近代日本の歩み	欧米における近代化の進展	○近代革命の時代 ○産業革命と19世紀のヨーロッパ ○ロシアとアメリカの発展	
		欧米の進出と日本の開国	○ヨーロッパのアジア侵略 ○開国と不平等条約 ○尊王攘夷運動と開国の影響 ○江戸幕府の滅亡	
		明治維新	○新政府の成立 ○明治維新の三大改革 ○富国強兵と文明開化 ○近代的な国際関係 ○国境と領土の確定 ○領土をめぐる問題の背景 ○自由民権運動の高まり ○立憲制国家の成立	

2 評価について

- (1) 基本的な考え方…下の表に示した3つの観点による評価を基本として、学習の目標がどれだけ実現できたかによって評価します。また、一人ひとりの良い点や可能性、進歩の状況なども積極的に評価します。そのため、学習前や学習過程の中にも評価の場面を設け、生徒の変容を計画的、継続的に把握します。
- (2) 具体的な評価の方法…定期テスト・小テストや観察、作品やレポートの分析などを組み合わせて評価します。また、生徒自身が学習を振り返り、次の学習や総合的な学習の時間、日常生活に生かせるよう自己評価能力の育成にも努めます。

知識及び技能	歴史的事象に対する基本的な考え方、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを理解し、その知識を身につけている。 歴史的事象に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果を図表化したり報告書にまとめたりして、発表を行う。
思考・判断・表現	歴史的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断する
主体的に学習に取り組む態度	歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立ってよりよい社会を考え公民としての自覚をもって責任を果たそうとする。